

令和4年11月16日
愛媛大学

愛媛大学大学院農学研究科附属ハダカムギ開発研究センター 裸麦が創る食と農の未来フォーラム 2022 の開催について

愛媛大学大学院農学研究科では、裸麦遺伝資源コレクションを構築し、それを活用した機能性及び生産性に関わる優良形質の選抜と品種開発を行うとともに、実需者ニーズを反映した有効活用法を開発することで、裸麦の生産振興と需要拡大に貢献することを目的として、「ハダカムギ開発研究センター」を設置しました。

このたび、「裸麦が創る食と農の未来フォーラム 2022」を開催することとなりました。本フォーラムは、健康機能性等の裸麦の特徴や利用拡大の可能性について、産学官の各々の視点から紹介し、裸麦の利用拡大や消費拡大を図るきっかけとするために開催します。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時:令和4年12月10日(土)13時00分~15時30分
場 所:南加記念ホール(愛媛大学城北キャンパス)、オンライン開催(Zoom)
定 員:対面先着130名、オンライン300名
申込締切:令和4年12月6日(火)12時00分

※参加には事前の申込みが必要です。詳細は、別紙チラシをご参照ください。

<お願い>

事前に取材の参加者数を把握するため、取材に来られる場合は 12月6日(火)までに、電話又はメールにて下記担当までご一報ください。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場ではマスクの着用及び手指消毒等にご協力願います。

本件に関する問い合わせ先

ハダカムギ開発研究センター長 荒木 卓哉

TEL:089-946-9526

Mail: hbarley@agr.ehime-u.ac.jp

※送付資料2枚(本紙を含む)

裸麦が創る食と農の未来フォーラム2022 ～裸麦の可能性を探る～

共催：愛媛大学大学院農学研究科附属ハダカムギ開発研究センター、中国四国農政局、
松山大学、公益財団法人えひめ産業振興財団 新加工技術確立および商品開発部会
後援：公益財団法人えひめ産業振興財団

開会挨拶

山内 聡（愛媛大学大学院農学研究科長）

講演

座長：松井 菜奈（愛媛大学大学院農学研究科
修士1年）

1. 中国・四国地域麦類の販路拡大等プロジェクトの
推進

（及川 仁氏：中国四国農政局次長）

2. ハダカムギ開発研究センターの取組

（荒木 卓哉氏：愛媛大学教授・大学院農学研究科
附属ハダカムギ開発研究センター長）

3. 食物繊維と健康

（徳井 教孝氏：中村学園大学薬膳科学研究所
教授）

4. 裸麦の利用の可能性について

（岡内 正氏：株式会社松山丸三
代表取締役社長）

5. 裸麦粉を使用した機能性表示食品の開発と瀬戸
内麦推進協議会の取組について

（吉原 良一氏：吉原食糧株式会社代表取締役）

講演終了後、**裸麦を用いた商品の紹介**

（オンライン終了）

商品紹介の後、**展示商品の見学**

（校友会館（南加記念ホール横））

日時等

12月10日（土）13:00～15:30

ハイブリッド開催

南加記念ホール

（愛媛大学城北キャンパス）

オンライン

（zoom, 定員300名, 事前登録制）

参加費：無料

概要

裸麦は四国、中国、九州地方で広く生産されており、これを原材料とする瀬戸内地域の独特の食文化を育んできました。裸麦の食文化を継承、発展させるためには、裸麦の幅広い利用を考え、需要拡大を図ることが不可欠です。健康機能性等の裸麦の特徴や利用拡大の可能性について、産学官の各々の視点から紹介してもらい、裸麦の利用拡大や消費拡大を図るきっかけとするために、本フォーラムを開催します。

参加お申込方法

事前登録制としています。参加を希望する方は、右記QRコードからお申込みください。

または、申込フォーム <https://forms.office.com/r/4xrrar8VFt>

からもお申し込み可能です。

（登録締切：2022年12月6日（火）12:00，定員 対面；先着130名、オンライン；先着300名）

